

## 平成 24 年度におけるトラブル状況及びヒヤリハット活動状況について

平成 24 年度の「トラブル」「不具合」「ヒヤリハット」「きがかかり(体験)」の活動状況について報告する。

平成 24 年度 トラブル・不具合・ヒヤリハット・きがかかり 月別報告状況													
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分Ⅰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分Ⅱ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
区分Ⅳ	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
不具合事象	8	6	8	8	5	5	12	8	8	9	7	9	93
不具合未済	7	6	7	6	11	4	6	7	5	2	3	6	70
ヒヤリハット	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
きがかかり(体験)	16	20	10	13	13	5	15	12	8	2	10	8	132

年度別報告状況						
区分	20年5月～3月	21年度	22年度	23年度	24年度	合計
区分Ⅰ	0	0	0	0	0	0
区分Ⅱ	0	0	0	1	0	1
区分Ⅲ	2	0	0	2	1	5
区分Ⅳ	4	5	15	4	3	31
不具合事象	—	(12/17～)45	90	69	93	297
不具合事象未済	—	(12/17～)88	119	77	70	354
ヒヤリハット	22	8	18	9	2	59
きがかかり(体験)	106	122	213	161	132	734

- ・ 平成24年度のトラブル報告状況は、総件数で7→4と3件(区分Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ各1件)減少した。23年度から減少した理由は以下のとおり。  
 区分Ⅱ→浄化槽の水質管理として、毎週1回JISによる全窒素の分析を行うなど、管理を強化した。  
 区分Ⅲ→車載トランスの残油の回収方法を改善した。代替フロンガスの漏洩検知器を設置した。  
 区分Ⅳ→フランジ等の管理の強化や、漏洩箇所の監視能力の向上により、トラブルに至らない滲み状態での発見が多くなった。(微少滲みの発見件数の増加により、不具合件数が増加)

・ ヒヤリハット(平成24年度分2件)の概要

① 報告日時:4月6日 (発生:3月28日 AM11時00分頃)

内容: 給気ファンエリアの給脂時に手の甲(手袋装着)がベルトに触れた。

原因: 給脂場所とベルトの間隔が狭いため、触れてしまった。

対策: 給脂場所とベルトの間隔が狭い箇所について、給脂用の延長管を設置した。その後、更なる対策としてベルトの保護カバーを設置した。

② 報告日時:7月9日 (発生:7月7日 AM6時5分頃)

内容: 低濃度分析室の入口ドアに右足親指が挟まり、うっ血した。

原因: 荷物を持っていたため、足元が見えなかった。

対策: 荷物を持っているときは、ドアストッパーを活用する。ドアを開ける際の立ち位置を明示した。

・ 仮想きがかかりの月別／年度別提出状況

平成24年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
きがかかり(仮想)	57	73	51	31	37	61	59	59	23	38	70	32	591
年度	20年5月～3月			21年度		22年度		23年度		24年度		合計	
きがかかり(仮想)	185			428		818		700		591		2722	

危険予知活動の一環として、仮想きがかかりの提出を奨励している。体験きがかかりの減少とともに、仮想きがかかりも減少している。

以上